

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	06075-1	人・農地プラン作成事業	室名	農政室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	03:農林業の振興	務	款 農林水産業費
実施体系	施策の方向	01:農業の担い手・営農組織の育成・確保	科	項 農林水産業費
	戦略プロジェクト		目	目 農業振興費

②目的・概要	対象	農村集落
	目的	地域農業の体質強化を図り、持続可能な農業及び力強い農業構造を実現する。
概要	集落や地域での話し合いにより、地域農業のあり方(現状や課題)について、議論を進め、地域農業を担に地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農)や生産基盤となる農地を、将来においても確保していくための展望を描いた「人・農地プラン」の作成を行う。	

			27年度	28年度
①	名称	プラン更新集落数	計画値	
	補足	集落及び人・農地プラン作成検討委員会において、作成済みのプランについて、見直しの承認を得た集落数	実績値	3
②	名称		計画値	
	補足		実績値	
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	

年度計画				年度実績				
				人・農地プラン更新集落数 3集落				
④事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	732
		国庫支出金	0	0	0	一般職員人件費 ②	732	平均給与額×③
		県支出金	100	77	77	所要人員 ③	0.10	
		地方債	0	0	0	臨時職員人件費 ④	0	
		その他	0	0	0	受益者負担額 ⑤	0	
		一般財源	100	77	77	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再	翌年度への繰越額	0	0			
		掲	前年度からの繰越額	0	0			
		総人件費		①	732			
		総コスト		⑥	886			

⑤事業の評価	【事業の成果】	作成済みのプランについて、地域や農業委員会での話し合い、人・農地プラン作成検討委員会で審査・検討を行い、プランの更新を行った。 1集落(小川町今里集落)において、集落等での話し合いを経て、農地中間管理事業を活用した。	総合判定
			B まずまず進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	平成26年までに、作成されたプランの更新だけとなり、新たな集落でのプラン作成には至らなかった。
	【改善の方向性】	地域の中心となる経営体(農業者)、農業委員・農地利用最適化推進委員、農業者団体などの関係機関と連携して、集落で農業の現状や課題などを話し合い、新たな集落単位での人・農地プラン作成を促す必要がある。必要に応じ具体的に集落を絞り込み、中間管理事業の活用と合わせて、新たな集落でのプラン作成に向け、重点的に取組みを行う。

事業目的の妥当性:	適切	有効性:	適切	最終評価確認者:	農政室長 谷口 広幸
-----------	----	------	----	----------	------------